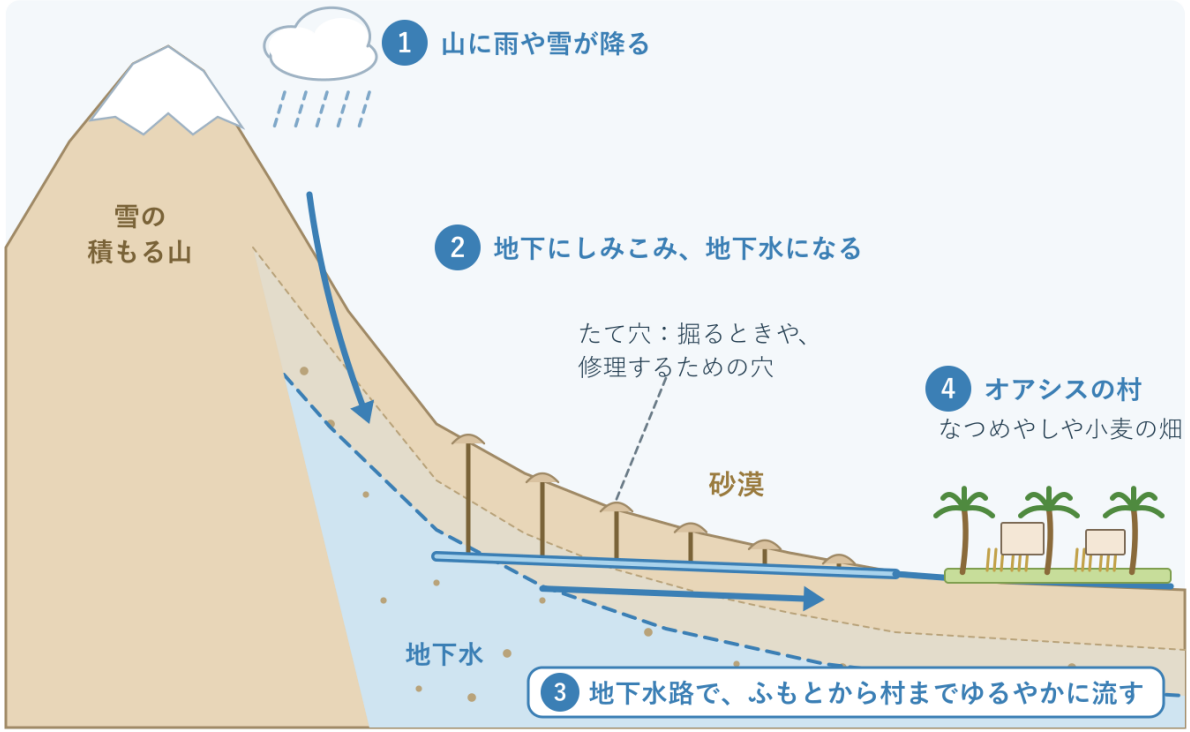
砂漠で水を得る工夫（オアシスと地下水路）

雨がほとんど降らない地域で、人々はどのように水を得て作物を育ててきたのでしょう

乾燥した地域の断面（模式）：水の通り道をたどる



なぜ地下に水路をつくるのか

- ✔ 強い日ざしの地表を通さないので、水が蒸発しにくい。
- ✔ 土地のかたむきで水が流れるので、くみ上げる力がいらない。

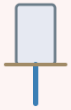
地下水路は地域によって名前が違う（イランではカナートなど）。

雨の多い地域から流れてくる川



砂漠の外で降った雨の水が、川になって流れてくる
（外来河川。例：ナイル川）

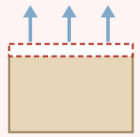
水を得る工夫と、その課題



井戸やポンプで、深い地下水を
くみ上げる工夫もある

↓ くみすぎると

✕ 地下水の水位が下がり、井戸や地下
水路がかれることがある



✕ 塩がたまる畑

水をまきすぎると、蒸発するとき
に土の表面に塩が残り、作物が
育ちにくくなる

白い層：塩

※ 模式図。高さ・深さ・長さは実際の比率ではない。典型例を示したもので、暮らし方は地域によって違う。